

b) N-4.2

(a) マント群落・ソデ群落の生育状況

N-4.2 のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7.2.3-42～表 7.2.3-43、図 7.2.3-35 に示した。

無障害物帯縁のマント群落・ソデ群落の過年度からの植生の推移をみると、既存のマント群落・ソデ群落が存在する東側、リュウキュウチクの植栽を実施した西側ともに、評価図書に示す環境保全措置のとおり、マント群落・ソデ群落の形成が確認されていた。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

東側は、工事前からリュウキュウチクが生育しており、既存のマント群落・ソデ群落が形成されている。過年度の調査(平成 27 年度)では、3 階層に分化がみられ、亜高木層が高さ 3.5m、植被率 10%、出現種 3 種、低木層が高さ 2.5m、植被率 80%、出現種 5～6 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 40%、出現種 19～21 種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ 3.5～4m、植被率 15～25%、出現種 3 種、低木層が高さ 2.5m、植被率 80～90%、出現種 7～9 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 40～50%、出現種 17～19 種であった。平成 27 年度の段階では、低木層のリュウキュウチクが優占していたが、今年度も同様に低木層のリュウキュウチクが優占するほか、スタジイも高い被度を示した。

西側は、リュウキュウチク植栽地(平成 25 年 11 月中旬に移植)で過年度の調査(平成 27 年度)では、2 階層に分化がみられ、低木層が高さ 2.5m、植被率 40%、出現種 2 種、草本層が高さ 0.6～0.8m、植被率 45%、出現種 28～32 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 2.5m、植被率 20～25%、出現種 3 種、草本層が高さ 1.0～1.2m、植被率 50～60%、出現種 21～25 種であった。平成 27 年度の段階では、リュウキュウチクが優占しており、草本類のホシダ、ササクサ等が生育していたが、今年度は低木層のリュウキュウチクの被度が低下しており、植被率も減少していたが草本層の植被率が増加傾向であった。

表 7.2.3-42(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.2: 東側)

調査年月日	東側																	
	H25年度		H26年度				H27年度			H28年度			H29年度					
	11/30	1/28	6/5	8/28	11/12	1/27	6/10	9/3	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/3	9/1	11/30	1/30
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5
亜高木層(T)の高さ (m)	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5							3.5	3.5	3.5	4.0
亜高木層(T)の出現数 (種)	3	3	3	3	3	3	3	3							3	3	3	3
低木層(S)の高さ (m)	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5							2.5	2.5	2.5	2.5
低木層(S)の出現数 (種)	3	3	3	3	4	4	4	5	6						7	8	8	9
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0							1.0	1.0	1.0	1.0
草本層(H)の出現数 (種)	13	14	15	17	17	17	17	19	21						17	18	19	17
出現種数 (種)	17	16	17	19	20	19	21	23							20	20	21	20
亜高木層																		
T.1 ホルトノキ(モガシ)	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1							1-2	1-2	2-2	2-2
T.2 リュウキュウテウチ	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2							+2	+2	+2	+2
T.3 トベラ	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1										
T.4 シロダモ															1-1	1-1	1-1	1-1
低木層																		
S.1 リュウキュウテウチ	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5							5-5	5-5	5-5	5-5
S.2 ササバサンキライ	+	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+
S.3 リュウキュウテウチ (植栽)																		
S.4 ホルトノキ(モガシ)	+	+	+	+	+	+	+	+										
S.5 トキワカモメヅル								+	+						+	+	+	+
S.6 インドシャリンバイ																		
S.7 リュウキュウテウチカズラ					+			+							+	+	+	+
S.8 スダジ(イタジ)									+						1-2	2-2	2-2	2-2
S.9 カクレミノ															+	+	+	+
S.10 ヒメズリハ															+	+	+	+
S.11 ススキ																		
S.12 ツルグミ																+	+	+
S.13 シロダモ							+	+										
S.14 ムベ																		+
草本層(H)																		
H.1 シラタマカズラ	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2							1-2	+2	+2	+2
H.2 ササクサ	+	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+
H.3 タブノキ	+	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+
H.4 トキワカモメヅル	+		+	+	+	+	+	+							+	+	+	+
H.5 リュウキュウテウチ		+	+	+	+	+	+	+							+	1-2	1-2	1-2
H.6 リュウキュウテウチカズラ								+	+						+	+	+	+
H.7 ケテウチカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+
H.8 オキナワサルトリイバラ		+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+
H.9 アカメガシワ						+	+	+										
H.10 オオバチヂミザサ					+	+	+	+							+	+	+	+
H.11 リュウキュウイチゴ							+	+	+						+			
H.12 ヒメズリハ	+	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+
H.13 アオノクマタケラン	+	+	+	+	+	+	+	+									+	+
H.14 シバヤブニッケイ																+		
H.15 スダジ(イタジ)	2-3	2-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3							3-3	3-3	3-3	3-3
H.16 イタビカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+
H.17 ツルグミ	+	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+
H.18 ゴンズイ									+						+			
H.19 ホシダ																		
H.20 シロダモ	+	+	+	+	+	+	+	+								+	+	+
H.21 トベラ		+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+
H.22 コシダ																		
H.23 コゴメスゲ																		
H.24 エゴノキ																		
H.25 カクレミノ	+	+	+	+	+	+	+	+							+			

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな斑を形成あるいはまだら状, 2: 斑状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-42(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.2:東側)

調査年月日	東側																		
	H25年度		H26年度				H27年度				H28年度				H29年度				
	11/30	1/28	6/5	8/28	11/12	1/27	6/10	9/3	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/3	9/1	11/30	1/30	
海拔 (m)	169	169	169	169	169	169	169	169							169	169	169	169	
方位	E	E	E	E	E	E	E	E							E	E	E	E	
傾斜角度 (°)	3	3	3	3	3	3	3	3							3	3	3	3	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5	
亜高木層(T)の高さ (m)	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5							3.5	3.5	3.5	4	
亜高木層(T)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	10	10	10							15	15	25	25	
亜高木層(T)の出現数 (種)	3	3	3	3	3	3	3	3							3	3	3	3	
低木層(S)の高さ (m)	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5							2.5	2.5	2.5	2.5	
低木層(S)の植被率 (%)	80	80	80	80	80	80	80	80							80	90	90	90	
低木層(S)の出現数 (種)	3	3	3	3	4	4	4	5	6						7	8	8	9	
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						1.0	1.0	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	25	25	30	30	30	40	40	40							40	50	50	50	
草本層(H)の出現数 (種)	13	14	15	17	17	17	19	21							17	18	19	17	
出現種数 (種)	17	16	17	19	20	19	21	23							20	20	21	20	
草本層(H)																			
H.26 ハゼノキ																		+	
H.27 リュウキュウマツ																			
H.28 ホラシノブ																			
H.29 ホルトノキ(モガシ)																			
H.30 エダウチチヂミザサ																	+	+	
H.31 オオバギ																			
H.32 イヌビワ																			
H.33 ハナガサノキ																			
H.34 コバナヒメハギ																			
H.35 ススキ																			
H.36 ケホシダ																			
H.37 クロミノオキナワスズメウリ					+														
H.38 ナガバカニクサ																			
H.39 ヤマグワ																			
H.40 ハイシロノセンダングサ																			
H.41 ササバサンキライ																	+	+	+
H.42 サカキカズラ																			
H.43 リュウキュウモチ																			
H.44 インドシャリンバイ																			
H.45 オオバイスビワ																			
H.46 リュウキュウバライチゴ																			
H.47 ムベ		+																	
H.48 ホウロクイチゴ									+										
H.49 ヒメイトビ										+									
H.50 ギョクシンカ																			
H.51 カキバカンコノキ																			
H.52 オニタビラコ																			
H.53 タイミンタチバナ																			
H.54 キキョウラン																			

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-43(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.2:西側)

調査年月日	西側																出現回数		
	H25年度		H26年度				H27年度			H28年度				H29年度					
	11/30	1/28	6/5	8/28	11/12	1/27	6/10	9/3	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/3	9/1		11/30	1/30
調査年月日																			
海拔 (m)	167	167	167	167	167	167	167	167								167	167	167	167
方位	W	W	W	W	W	W	W	W								W	W	W	W
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-								-	-	-	-
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5								4.5	4.5	4.5	4.5
亜高木層(T)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-								-	-	-	-
亜高木層(T)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-								-	-	-	-
亜高木層(T)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-								-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5								2.5	2.5	2.5	2.5
低木層(S)の植被率 (%)	40	40	40	40	40	40	40	40								20	20	25	25
低木層(S)の出現数 (種)	3	3	4	3	3	3	3	3								3	3	3	3
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8								1.0	1.2	1.2	1.2
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	20	40	45	45	45								50	50	60	60
草本層(H)の出現数 (種)	15	17	22	30	28	27	28	32								21	21	25	22
出現種数 (種)	17	19	23	30	29	28	29	32								21	21	25	22
亜高木層																			
T.1 ホルトノキ(モガシ)																			12
T.2 リュウキュウチク																			12
T.3 トベラ																			8
T.4 シロダモ																			4
低木層																			
S.1 リュウキュウチク	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2								1・2	1・2	1・2	1・2
S.2 ササバサンキライ																			12
S.3 リュウキュウチク (植栽)	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2								1・2	1・2	1・2	1・2
S.4 ホルトノキ(モガシ)																			8
S.5 トキワカモメツル			+																7
S.6 インドシャリンバイ	+	+	+	+	+	+	+	+											7
S.7 リュウキュウテイカカズラ																			6
S.8 スダジイ(イタジイ)																			5
S.9 カクレミノ																			4
S.10 ヒメユズリハ																			4
S.11 ススキ																+	+2	1・2	1・2
S.12 ツルグミ																			3
S.13 シロダモ																			2
S.14 ムベ																			1
草本層(H)																			
H.1 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+								+	+	+2	+
H.2 ササクサ	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2										+	+
H.3 タブノキ	+	+		+	+	+	+	+								+		+	+
H.4 トキワカモメツル	+	+	+	+	+	+	+	+										+	+
H.5 リュウキュウチク			+	+	+2	+2	+2	+2								+2	+2	+2	+2
H.6 リュウキュウテイカカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2							+	+	+2	+2
H.7 ケテイカカズラ				+	+	+	+	+											17
H.8 オキナワサルトリイバラ	+	+	+													+	+		16
H.9 アカメガシフ	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2								+2	+2	1・2	+2
H.10 オオバチヂミザサ			+	+	+	+	+	+											14
H.11 リュウキュウイチゴ			+	+	1・1	1・1	+2	+2								+	+	+	+
H.12 ヒメユズリハ			+																13
H.13 アオノクマタケラン		+	+	+															13
H.14 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+	+	+								+	+	+	+
H.15 スダジイ(イタジイ)																			12
H.16 イタビカズラ																			12
H.17 ツルグミ																			12
H.18 ゴンズイ			+	+	+	+	+	+								+	+	+	+
H.19 ホシダ	+	+	+	+	1・2	2・2	2・2	3・3								3・3	3・3	3・3	3・3
H.20 シロダモ																			11
H.21 トベラ																			11
H.22 コシダ	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2								+		+	+
H.23 コゴメスゲ			+	+	+	+	+	+								1・2	1・2	1・2	1・2
H.24 エゴノキ			+	+	+	+	+	+								+	+	+	+
H.25 カクレミノ																			9

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度—5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
群度—5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-43(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.2:西側)

調査年月日	西側																出現回数	
	H25年度		H26年度				H27年度			H28年度				H29年度				
	11/30	1/28	6/5	8/28	11/12	1/27	6/10	9/3	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/3	9/1		11/30
海拔 (m)	167	167	167	167	167	167	167	167							167	167	167	167
方位	W	W	W	W	W	W	W	W							W	W	W	W
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5
亜高木層(T)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-
亜高木層(T)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-
亜高木層(T)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5							2.5	2.5	2.5	2.5
低木層(S)の植被率 (%)	40	40	40	40	40	40	40	40							20	20	25	25
低木層(S)の出現数 (種)	3	3	4	3	3	3	3	2							3	3	3	3
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8							1.0	1.2	1.2	1.2
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	20	40	45	45	45							50	50	60	60
草本層(H)の出現数 (種)	15	17	22	30	28	27	28	32							21	21	25	22
出現種数 (種)	18	20	24	31	30	29	30	33							22	22	26	23
草本層(H)																		
H. 26 ハゼノキ				+	1・1	+	+	+							+	+	+	9
H. 27 リュウキュウマツ				+	+	+	+	+							+	+	+	9
H. 28 ホラシノブ				+	+	+	+	+							+	+	+	9
H. 29 ホルトノキ(モガシ)				+	+	+	+	+							+	+	+	9
H. 30 エダウチチヂミザサ	+	+2		+		+									+	+		8
H. 31 オオバギ	+	+		+	+	+	+	+								+		8
H. 32 イヌビワ		+	+	+	+	+	+	+							+	+		7
H. 33 ハナガサノキ			+	+	+	+	+	+									+	7
H. 34 コバナヒメハギ				+	+	+	+	+								+	+	7
H. 35 ススキ						+	+	+							+	+2	+2	7
H. 36 ケホシダ			+	+	+	+	+	+										6
H. 37 クロミノオキナフズメウリ		+	+	+	+													5
H. 38 ナガバカニクサ				+	+	+	+	+										5
H. 39 ヤマグワ								+	+						+	+		5
H. 40 ハイシロノセンダングサ									+						+	+	+	5
H. 41 ササバサンキライ																		3
H. 42 サカキカズラ	+	+																2
H. 43 リュウキュウモチ	+	+																2
H. 44 インドシャリンバイ				+											+			2
H. 45 オオバイヌビワ					+			+										2
H. 46 リュウキュウバライチゴ							+									+		2
H. 47 ムベ																		1
H. 48 ホウロクイチゴ																		1
H. 49 ヒメイタビ																		1
H. 50 ギョクシンカ	+																	1
H. 51 カキバカンコノキ								+										1
H. 52 オニタビラコ									+									1
H. 53 タイミンタチバナ									+									1
H. 54 キキョウラン														+				1

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布
 注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

【N-4.2 : 東側】



平成 25 年 11 月 30 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日

【N-4.2 : 西側】



平成 25 年 11 月 30 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日

図 7.2.3-35 マント群落・ソデ群落の植生状況(N-4.2)

(b) 無障害物帯形成地の植生

N-4.2 の無障害物帯の生育・形成状況を表 7.2.3-44～表 7.2.3-48、図 7.2.3-36 に示した。

無障害物帯縁の植生の推移をみると、無障害物帯は樹木の伐採が行われた後、盛土部分には早期緑化を目的とした張芝が行われたほか、その他の場所では、可能な限り既存の草本類を残したことから、無障害物帯に裸地は存在していない。秋季調査時に西側において が確認されたが、回復傾向である。評価図書においては、無障害物帯は早期緑化を行うこととしており、その環境保全措置を実施できたと考えられる。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、平成 26 年度末に芝張りが完了した場所であり、過年度の調査(平成 27 年度)では、草丈 0.2m、植被率 95%、出現種 4～5 種であった。今年度調査においては、草丈 0.2m、植被率 70～90%、出現種 5～17 種であった。今年度は、芝張りされたシバが優占していた。

東側は、樹木を伐採したものの、草本類を可能な限り残した場所であり、過年度の調査(平成 27 年度)では、第 1 草本層が高さ 3.0m、植被率 30%、出現種 5 種、第 2 草本層が高さ 1.2～1.5m、植被率 60%、出現種 27～28 種であった。今年度調査においては、第 1 草本層が高さ 3.0m、植被率 10～30%、出現種 3～4 種、第 2 草本層が高さ 1.5m、植被率 80～90%、出現種 24～26 種であった。今年度はアカメガシワが優占するほか、リュウキュウチクも高い被度を示していた。

南東側は、過年度の調査(平成 27 年度)では、草本層に分化がみられ、第 1 草本層が高さ 1.5m、植被率 20%、出現種 1～3 種、第 2 草本層が高さ 0.3m、植被率 20～100%、出現種 8～9 種であった。今年度調査においては、第 1 草本層が高さ 1.3～1m、植被率 5～20%、出現種 1～2 種、第 2 草本層が高さ 0.3～0.5m、植被率 90～95%、出現種 8～14 種であった。今年度は、ハイシロノセンダングサが優占するほか、チガヤも高い被度を示した。

南側は、過年度の調査(平成 27 年度)では、草丈 0.1m、植被率 80%、出現種 10～11 種であった。今年度調査においては、草丈 0.2～0.3m、植被率 80～100%、出現種 9～15 種であった。今年度は、同様に芝張りされたシバが優占するほか、コウライシバ、ハイシロノセンダングサも高い被度を示した。

西側は、過年度の最終調査(平成 27 年度)では、草本層に分化がみられ、第 1 草本層が高さ 1.5m、植被率 1%、出現種 1 種、第 2 草本層が高さ 0.2m、植被率 100%、出現種 11～14 種であった。今年度調査においては、草本層に分化がみられず、高さ 0.4m、植被率 20～90%、出現種 5～16 種であった。今年度も、芝張りされたシバが優占していたが、秋季調査時に がみられ植被率が著しく低下した。

表 7.2.3-44(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 北側)

調査年月日	北側															
	H26年度				H27年度				H28年度				H29年度			
	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/2	9/1	11/30	1/30
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175							175	175	175	175
方位	S	S	S	S	S	S							S	S	S	S
傾斜角度 (°)	10	10	10	10	10	10							10	10	10	10
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5
草本層-1(H)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-
草本層-1(H)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-
草本層-1(H)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-
草本層-2(H)の高さ (m)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2							0.2	0.2	0.2	0.2
草本層-2(H)の植被率 (%)	90	95	95	95	95	95							90	90	90	70
草本層-2(H)の出現数 (種)	8	9	6	6	4	5							17	5	6	6
出現種数 (種)	8	9	6	6	4	5							17	5	6	6
草本層-1(H)																
H.1 ホルトノキ(モガシ)																
H.2 リュウキュウチク																
H.3 タチスズメノヒエ																
H.4 オキナワサルトリイバラ																
H.5 アカメガシワ																
H.6 ススキ																
H.7 ギンゴウカン(ギンネム)																
H.8 ハゼノキ																
H.9 ヒメズリハ																
H.10 シマスズメノヒエ																
H.11 セイタカアワダチソウ																
草本層-2(H)																
H.1 シバ	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5							4・4	4・4	4・4	4・4
H.2 ハイシロノセンダングサ													1・2	+・2	1・2	1・2
H.3 タチスズメノヒエ	+	+・2	+	+・2	+	+							+・2	+・2		
H.4 コバナヒメハギ		+	+	+									+			
H.5 ギンゴウカン(ギンネム)																
H.6 チガヤ													+・2	+・2	1・2	1・2
H.7 コゴメスゲ																
H.8 ホシダ																
H.9 リュウキュウイチゴ																
H.10 アキノノゲシ													+			
H.11 イヌビワ																
H.12 マルバダケハギ													1・1		1・2	+
H.13 ヒメジョオン													+			
H.14 コウライシバ			1・2													
H.15 オニタビラコ													+			
H.16 アカメガシワ																
H.17 オキナワサルトリイバラ																
H.18 ヒメズリハ																
H.19 キキョウラン																
H.20 シラタマカズラ																
H.21 トベラ																
H.22 ヒメムカシヨモギ			+													
H.23 ホルトノキ(モガシ)																
H.24 リュウキュウチク																
H.25 リュウキュウテイカカズラ																
H.26 タブノキ																
H.27 ホウロクイチゴ																
H.28 スギナ																
H.29 ケイカカズラ																
H.30 オオバギ																
H.31 ススキ																
H.32 カタバミ																
H.33 ナガバハリフタバ																
H.34 イワダレソウ																
H.35 ヤハズソウ													5・5	5・5	3・4	+
H.36 リュウキュウマツ																
H.37 ハゼノキ																
H.38 スダジイ(イタジイ)																
H.39 メシバ		+														
H.40 ホウキギク				+	+								+			
H.41 アブラススキ															+	+
H.42 ウラジロカンコノキ																
H.43 ハマスゲ																
H.44 セイタカアワダチソウ																

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠側。

表 7.2.3-44(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 北側)

調査年月日	北側															
	H26年度				H27年度				H28年度				H29年度			
	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/2	9/1	11/30	1/30
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175							175	175	175	175
方位	S	S	S	S	S	S							S	S	S	S
傾斜角度 (°)	10	10	10	10	10	10							10	10	10	10
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5
草本層-1(H)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-
草本層-1(H)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-
草本層-1(H)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-
草本層-2(H)の高さ (m)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2							0.2	0.2	0.2	0.2
草本層-2(H)の植被率 (%)	90	95	95	95	95	95							90	90	90	70
草本層-2(H)の出現数 (種)	8	9	6	6	4	5							17	5	6	6
出現種数 (種)	8	9	6	6	4	5							17	5	6	6
草本層-2(H)																
H.45 ニシヨモギ	+	+	+	+	+	+										
H.46 イタビカズラ																
H.47 オオバチヂミザサ																
H.48 アメリカホウライセンブリ													+			
H.49 ツボクサ																
H.50 シバヤブニッケイ																
H.51 コメヒシバ	+	+														
H.52 エダウチヂミザサ																
H.53 トキワカモメヅル																
H.54 カキバカンコノキ																
H.55 アゼガヤツリ																
H.56 ヤマグル																
H.57 ヒメクグ																
H.58 ジシバリ																
H.59 キョウギシバ		+		+												
H.60 ツメクサ													+			
H.61 ニワゼキショウ													+			
H.62 タイワンハチジョウナ																
H.63 インドシャリンバイ																
H.64 ベニバナボロギク																
H.65 ハマハナヤスリ																
H.66 シオカゼテンツキ																
H.67 クグテンツキ																
H.68 ホソバアキノノゲシ																
H.69 オキノゲシ	+															
H.70 ハイキビ	+															
H.71 ホトケノザ	+															
H.72 ムラサキエノコロ		+														
H.73 ハマエノコロ			+													
H.74 ニガカシュウ					+											
H.75 ウリクサ													+			
H.76 コマツヨイグサ													+			
H.77 スズメノエンドウ													+			
H.78 クロミノオキナワズメウリ																
H.79 サキシマフヨウ																
H.80 シマイズセンリョウ																
H.81 イヌビエ																
H.82 チチコグサ																
H.83 シマズメヒエ																
H.84 ハゼラン																
H.85 コバノニシキソウ																
H.86 チドメグサ																
H.87 アメリカフウロ																
H.88 カラスノエンドウ																
H.89 アイナエ																
H.90 キバナニワゼキショウ																
H.91 アフリカヒゲシバ																
H.92 ネズミノオ																
H.93 スズメノカタビラ																
H.94 ハルノゲン																
H.95 セイウタンボボ																
H.96 タチアワユキセンダングサ																
H.97 キダチコミカンソウ																
H.98 オオアレチノギク																
H.99 コブナグサ																

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-45(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 南側)

調査年月日	N-4.2 無障害物帯														南側											
	H25年度		H26年度				H27年度				H28年度				H29年度											
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/3	9/1	11/30	1/30									
海拔 (m)	173	173	173	173	173	173	173	173						173	173	173	173									
方位	W	W	W	W	W	W	W							W	W	W	W									
傾斜角度 (°)	2	2	2	2	2	2	2							2	2	2	2									
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5									
草本層-1(H)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-									
草本層-1(H)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-									
草本層-1(H)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-									
草本層-2(H)の高さ (m)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1							0.3	0.2	0.2	0.2									
草本層-2(H)の植被率 (%)	20	40	70	80	80	80	80							80	95	100	100									
草本層-2(H)の出現数 (種)	2	6	5	9	14	11	10							12	10	15	9									
出現種数 (種)	2	6	5	9	14	11	10							12	10	15	9									
草本層-1(H)																										
H.1 ホルトノキ(モガシ)																										
H.2 リュウキュウチク																										
H.3 タチスズメノヒエ																										
H.4 オキナワサルトリイバラ																										
H.5 アカメガシワ																										
H.6 ススキ																										
H.7 ギンゴウカン(ギンネム)																										
H.8 ハゼノキ																										
H.9 ヒメズリハ																										
H.10 シマスズメノヒエ																										
H.11 セイタカアワダチソウ																										
草本層-2(H)																										
H.1 シバ	2-3	3-3	4-4	5-5	4-5	4-5	4-5							4-4	4-4	4-4	5-5									
H.2 ハイシロノセンダングサ						+	+	+						1-2	+2	2-2	2-2									
H.3 タチスズメノヒエ		+													+											
H.4 コバナヒメハギ			+	+	+	+	+									+										
H.5 ギンゴウカン(ギンネム)		+				+									+	+										
H.6 チガヤ																										
H.7 コゴメスゲ		+		+	+	+	+																			
H.8 ホシダ																										
H.9 リュウキュウイチゴ																										
H.10 アキノノゲシ																										
H.11 イヌビロ																										
H.12 マルバダケハギ				+	+	+	+							+2	+2	+2	+2									
H.13 ヒメジョオン																	+									
H.14 コウライシバ				1-2	2-2	2-2	2-2							2-2	2-2	1-2	1-2									
H.15 オニタビラコ																										
H.16 アカメガシワ																										
H.17 オキナワサルトリイバラ																										
H.18 ヒメズリハ																										
H.19 キキョウラン																										
H.20 シラタマカズラ																										
H.21 トベラ																										
H.22 ヒメムカシヨモギ																										
H.23 ホルトノキ(モガシ)																										
H.24 リュウキュウチク																										
H.25 リュウキュウテイカカズラ																										
H.26 タブノキ																										
H.27 ホウロクイチゴ																										
H.28 スギナ																										
H.29 ケイカカズラ																										
H.30 オオバギ																										
H.31 ススキ																	+									
H.32 カタバミ																										
H.33 ナガバハリフタバ	+	+	+	+	+	+	+										+									
H.34 イワダレソウ			+	+	+	+	+								+2	+2	+									
H.35 ヤハズソウ														2-2	3-3	3-3										
H.36 リュウキュウマツ																										
H.37 ハゼノキ																										
H.38 スダジイ(イタジイ)																										
H.39 メシバ						+								+		+	+									
H.40 ホウキギク																										
H.41 アブラスキ			+																							
H.42 ウラジロカンコノキ																										
H.43 ハマズゲ																										
H.44 セイタカアワダチソウ																										

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-45(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 南側)

調査年月日	南側																		
	H25年度		H26年度					H27年度				H28年度				H29年度			
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/3	9/1	11/30	1/30		
海拔 (m)	173	173	173	173	173	173	173							173	173	173	173		
方位	W	W	W	W	W	W	W							W	W	W	W		
傾斜角度 (°)	2	2	2	2	2	2	2							2	2	2	2		
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5		
草本層-1(H)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-		
草本層-1(H)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-		
草本層-1(H)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-		
草本層-2(H)の高さ (m)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1							0.3	0.2	0.2	0.2		
草本層-2(H)の植被率 (%)	20	40	70	80	80	80	80							80	95	100	100		
草本層-2(H)の出現数 (種)	2	6	5	9	14	11	10							12	10	15	9		
出現種数 (種)	2	6	5	9	14	11	10							12	10	15	9		
草本層-2(H)																			
H.45 ニシヨモギ																			
H.46 イタバカズラ																			
H.47 オオバチヂミザサ																			
H.48 アメリカホウライセンブリ						+	+	+						++					
H.49 ツボクサ																			
H.50 シバヤブニッケイ																			
H.51 コメヒシバ																			
H.52 エダウチチヂミザサ																			
H.53 トキワカモメヅル																			
H.54 カキバカンコノキ																			
H.55 アゼガヤツリ														+	+	+	+		
H.56 ヤマグワ																			
H.57 ヒメクグ																+	+		
H.58 ジシバリ																			
H.59 ギョウギシバ																			
H.60 ツメクサ														+					
H.61 ニワゼキショウ														+					
H.62 タイワンハチジョウナ																			
H.63 インドシャリンバイ																			
H.64 ベニバナボロギク																			
H.65 ハマハナヤスリ						+	+												
H.66 シオカゼテンツキ																+	+		
H.67 クグテンツキ																			
H.68 ホソバアキノゲシ																			
H.69 オニノゲシ																			
H.70 ハイキビ																			
H.71 ホトケノザ																			
H.72 ムラサキエノコロ																			
H.73 ハマエノコロ																			
H.74 ニガカシユヅ																			
H.75 ウリクサ																			
H.76 コマツヨイグサ																			
H.77 スズメノエンドウ																			
H.78 クロミノオキナワズメウリ																			
H.79 サキシマフヨウ																			
H.80 シマイズセンリョウ																			
H.81 イヌビエ																			
H.82 チチコグサ																			
H.83 シマズズメヒエ																			
H.84 ハゼラン				+															
H.85 コバノニシキソウ					+														
H.86 チドメグサ					+														
H.87 アメリカフウロ						+													
H.88 カラスノエンドウ						+													
H.89 アイナエ																			
H.90 キバナニワゼキショウ														+					
H.91 アフリカヒゲシバ																+			
H.92 ネズミノオ																	+		
H.93 スズメノカタビラ																			
H.94 ハルノゲシ																			
H.95 セイヨウタンポポ																			
H.96 タチアワユキセンダングサ																			
H.97 キダチコミカンソウ																			
H.98 オオアレチノギク																			
H.99 コブナグサ																			

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-46(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 南東側)

調査年月日	南東側																	
	H25年度	H26年度					H27年度				H28年度				H29年度			
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/2	9/1	11/30	1/30	
海拔 (m)	171	171	171	171	171	171	171							171	171	171	171	
方位	E	E	E	E	E	E	E							E	E	E	E	
傾斜角度 (°)	3	3	3	3	3	3	3							3	3	3	3	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5	
草本層-1(H)の高さ (m)	-	-	-	-	-	1.5	1.5							1.3	1.0	1.0	1.0	
草本層-1(H)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	20	20							20	20	10	5	
草本層-1(H)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	1	3							2	2	2	1	
草本層-2(H)の高さ (m)	0.05	0.3	0.7	0.7	0.3	0.3	0.3							0.5	0.3	0.3	0.3	
草本層-2(H)の植被率 (%)	85	100	100	100	100	100	100							90	90	95	90	
草本層-2(H)の出現数 (種)	1	11	7	10	11	8	9							11	8	14	12	
出現種数 (種)	1	11	7	10	11	9	11							11	8	14	12	
草本層-1(H)																		
H.1 ホルトノキ(モガシ)																		
H.2 リュウキュウチク																		
H.3 タチスズメノヒエ						2-2	2-2							2-2	2-2	+		
H.4 オキナワサルトリイバラ																		
H.5 アカメガシワ																		
H.6 ススキ																		
H.7 ギンゴウカン(ギンネム)														+	+	1-2	1-2	
H.8 ハゼノキ																		
H.9 ヒメズリハ																		
H.10 シマスズメノヒエ																		
H.11 セイタカアワダテソウ																		
草本層-2(H)																		
H.1 シバ	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5	1-2							1-2			+	
H.2 ハイシロノセンダングサ				+	+	++	1-2							4-4	3-4	3-4	3-3	
H.3 タチスズメノヒエ				++	++									1-2	+	+	1-2	
H.4 コバナヒメハギ						+	+											
H.5 ギンゴウカン(ギンネム)														+	+	+	+	
H.6 チガヤ		+	+											2-2	3-3	3-3	3-3	
H.7 コゴメスゲ																		
H.8 ホシダ		+	+	+	+		+							+	+	++	+	
H.9 リュウキュウイチゴ														+		+	+	
H.10 アキノノゲシ		++	++	+	+	+	+									+	+	
H.11 イヌビワ														+	+	+	+	
H.12 マルバダケハギ																		
H.13 ヒメジョオン				+	+													
H.14 コウライシバ														1-2	++			
H.15 オニタビラコ															+	+		
H.16 アカメガシワ																		
H.17 オキナワサルトリイバラ																		
H.18 ヒメズリハ																		
H.19 キキョウラン																		
H.20 シラタマカズラ																		
H.21 トベラ																		
H.22 ヒメムカシヨモギ		+				+												
H.23 ホルトノキ(モガシ)																		
H.24 リュウキュウチク																		
H.25 リュウキュウテイカカズラ																		
H.26 タブノキ																		
H.27 ホウロクイチゴ																		
H.28 スギナ		++	++	+	+	+												
H.29 ケテカカズラ																		
H.30 オオバギ																		
H.31 ススキ																		
H.32 カタバミ		+	+	+	+	+	+									+		
H.33 ナガバハリフタバ																	+	
H.34 イワダレソウ																		
H.35 ヤハズソウ																		
H.36 リュウキュウマツ																		
H.37 ハゼノキ																		
H.38 スダジイ(イタジイ)																		
H.39 メシバ		+																
H.40 ホウキギク				+														
H.41 アブラスキ					+	+										+	+	
H.42 ウラジロカンコノキ																		
H.43 ハマズゲ				+	+	+	+											
H.44 セイタカアワダテソウ														++	++	++	+	

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-46(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 南東側)

調査年月日	南東側																		
	H25年度		H26年度					H27年度				H28年度				H29年度			
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/2	9/1	11/30	1/30		
海拔 (m)	171	171	171	171	171	171	171	171						171	171	171	171		
方位	E	E	E	E	E	E	E	E						E	E	E	E		
傾斜角度 (°)	3	3	3	3	3	3	3	3						3	3	3	3		
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5						4.5	4.5	4.5	4.5		
草本層-1(H)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	1.5				1.3	1.0	1.0	1.0		
草本層-1(H)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	20	20					20	20	10	5		
草本層-1(H)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	1	3						2	2	2	1		
草本層-2(H)の高さ (m)	0.05	0.3	0.7	0.7	0.3	0.3	0.3	0.3						0.5	0.3	0.3	0.3		
草本層-2(H)の植被率 (%)	85	100	100	100	100	100	100	20						90	90	95	90		
草本層-2(H)の出現数 (種)	1	11	7	10	11	8	9							11	8	14	12		
出現種数 (種)	1	11	7	10	11	9	11							11	8	14	12		
草本層-2(H)																			
H.45 ニシヨモギ																			
H.46 イタビカズラ																			
H.47 オオバチヂミザサ																			
H.48 アメリカホウライセンブリ																			
H.49 ツボクサ																			
H.50 シバヤブニッケイ																			
H.51 コメヒシバ																			
H.52 エダウチヂミザサ																			
H.53 トキワカモメヅル																			
H.54 カキハカンコノキ																			
H.55 アゼガヤツリ																			
H.56 ヤマグワ																			
H.57 ヒメクグ																			
H.58 ジシバリ																			
H.59 ギョウギシバ																			
H.60 ツメクサ																			
H.61 ニワゼキショウ																			
H.62 タイワンハチジョウナ																			
H.63 インドシャリンバイ																			
H.64 ベニバナボロギク		+	+																
H.65 ハマハナヤスリ																			
H.66 シオカゼテンツキ																			
H.67 クグテンツキ																			
H.68 ホソバアキノゲシ																			
H.69 オニノゲシ																			
H.70 ハイキビ																			
H.71 ホトケノザ																			
H.72 ムラサキエノコロ																			
H.73 ハマエノコロ																			
H.74 ニガカシユヅ																			
H.75 ウリクサ																			
H.76 コマツヨイグサ																			
H.77 スズメノエンドウ																			
H.78 クロミノオキナワズメウリ																			
H.79 サキシマフヨウ																			
H.80 シマイズセンリョウ																			
H.81 イヌビエ		+																	
H.82 手子コグサ		+																	
H.83 シマスズメヒエ																			
H.84 ハゼラン																			
H.85 コバノニシキソウ																			
H.86 手ドメグサ																			
H.87 アメリカフウロ																			
H.88 カラスノエンドウ																			
H.89 アイナエ																			
H.90 キバナニワゼキショウ																			
H.91 アフリカヒゲシバ																			
H.92 ネズミノオ																			
H.93 スズメノカタビラ																			
H.94 ハルノゲシ																			
H.95 セイウタンホボ																			
H.96 タチアワユキセンダングサ																			
H.97 キダチコミカンソウ																			
H.98 オオアレチノギク																			
H.99 コブナグサ																			

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-47(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 東側)

調査年月日	東側																	
	H25年度		H26年度				H27年度				H28年度				H29年度			
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/2	9/1	11/30	1/30	
海拔 (m)	172	172	172	172	172	172	172	172						172	172	172	172	
方位	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5	
草本層-1(H)の高さ (m)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0							3.0	3.0	3.0	3.0	
草本層-1(H)の植被率 (%)	25	30	30	30	30	30	30							30	10	10	10	
草本層-1(H)の出現数 (種)	1	3	3	3	3	3	5							4	3	4	4	
草本層-2(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2	1.5							1.5	1.5	1.5	1.5	
草本層-2(H)の植被率 (%)	20	40	50	50	60	60	60							80	80	90	90	
草本層-2(H)の出現数 (種)	21	25	26	27	26	28	27							24	25	26	24	
出現種数 (種)	22	25	26	27	27	28	27							24	25	26	24	
草本層-1(H)																		
H.1 ホルトノキ(モガシ)		1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1							1-1	1-1	1-1	1-1	
H.2 リュウキュウチク	2-3	2-3	2-3	2-3	2-3	2-3	2-3							1-2				
H.3 タチスズメノヒエ																		
H.4 オキナワサルトリイバラ		+	+	+	+	+	+											
H.5 アカメガシワ							+							+	+	+	+	
H.6 ススキ														2-2	+	+2	+2	
H.7 キンゴウカン(ギンネム)																		
H.8 ハゼノキ							+	+										
H.9 ヒメズリハ															+	+		
H.10 シマスズメノヒエ																		
H.11 セイタカアワダチソウ																		
草本層-2(H)																		
H.1 シバ																		
H.2 ハイシロノセンダングサ		+2	+2	+2	1-2	1-2	1-2							+2	+2	+	+	
H.3 タチスズメノヒエ						+	+											
H.4 コバナヒメハギ	+	+	+	+	+	+	+											
H.5 キンゴウカン(ギンネム)	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+2	+	
H.6 テガヤ																		
H.7 コゴメスゲ	+	+	+	+	+	+	+							1-2	1-2	1-2	1-2	
H.8 ホシダ														1-2	+2	1-2	1-2	
H.9 リュウキュウイチゴ	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1							+	+	+	+	
H.10 アキノノゲシ																		
H.11 イヌビワ		+	+		+	+	+							+2	+	+2	+2	
H.12 マルバダケハギ																		
H.13 ヒメジョオン																		
H.14 コウライシバ																		
H.15 オニタビラコ	+																	
H.16 アカメガシワ	1-2	3-3	3-3	3-3	2-3	2-3	2-3							2-3	2-3	2-3	1-2	
H.17 オキナワサルトリイバラ	+2	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+	
H.18 ヒメズリハ	+	+	+	+	1-2	1-2	1-2							1-2	1-2	1-2	1-2	
H.19 キキョウラン	+	+	+	+	+2	+2	+2							+2	+2	+2	+2	
H.20 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+	
H.21 トベラ	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+	
H.22 ヒメムカシヨモギ																		
H.23 ホルトノキ(モガシ)	+	+	+	+		+	+							+	+	+	+	
H.24 リュウキュウチク		+2	+2	+2	1-2	1-2	1-2							1-2	1-2	2-2	2-2	
H.25 リュウキュウテイカカズラ	+	+	+2	+2	+2	+2	+2							+	+	+	+	
H.26 タブノキ		+	+	+	+	+	+							+	+	+	+	
H.27 ホウロクイチゴ		+	+	+	+	+	+							+	+	+	+	
H.28 スギナ																		
H.29 ケテカカズラ	+2			+	+	+	+							+	+	+	+	
H.30 オオバギ	+	+	+	+	+	+	+								+	+		
H.31 ススキ						+	+							3-3	3-3	4-4	4-4	
H.32 カタバミ																		
H.33 ナガバハリフタバ																		
H.34 イワダレソウ																		
H.35 ヤハズソウ																		
H.36 リュウキュウマツ	+		+	+	+	+	+											
H.37 ハゼノキ			+	+	+	+	+							+	+	+		
H.38 スダジイ(イタジイ)				+	+	+	+							+	+	+2	+	
H.39 メシバ																		
H.40 ホウキギク																		
H.41 アブラスキ																		
H.42 ウラジロカンコノキ		+	+	+	+	+	+							+				
H.43 ハマスゲ																		
H.44 セイタカアワダチソウ																		

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-47(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 東側)

調査年月日	東側																	
	H25年度		H26年度				H27年度				H28年度				H29年度			
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/2	9/1	11/30	1/30	
海拔 (m)	172	172	172	172	172	172	172							172	172	172	172	
方位	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-	-	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5	
草本層-1(H)の高さ (m)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0							3.0	3.0	3.0	3.0	
草本層-1(H)の植被率 (%)	25	30	30	30	30	30	30							30	10	10	10	
草本層-1(H)の出現数 (種)	1	3	3	3	3	3	5							4	3	4	4	
草本層-2(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2	1.5							1.5	1.5	1.5	1.5	
草本層-2(H)の植被率 (%)	20	40	50	50	60	60	60							80	80	90	90	
草本層-2(H)の出現数 (種)	21	25	26	27	26	28	27							24	25	26	24	
出現種数 (種)	22	25	26	27	27	28	27							24	25	26	24	
草本層-2(H)																		
H.45 ニシヨモギ																		
H.46 イタビカズラ	+	+	+	+	+	+												
H.47 オオバチヂミザサ		+	+	+	+	+	+											
H.48 アメリカホウライセンブリ																		
H.49 ツボクサ	+	+	+	+														
H.50 シバヤブニッケイ	+		+	+			+	+										
H.51 コメヒシバ																		
H.52 エダウチヂミザサ	+2														+	+	+	
H.53 トキワカモメヅル	+	+	+	+														
H.54 カキハカンコノキ														+	+	+	+	
H.55 アゼガヤツリ																		
H.56 ヤマグワ														+	+	+		
H.57 ヒメクグ																		
H.58 ジシバリ																		
H.59 ギョウギシバ																		
H.60 ツメクサ																		
H.61 ニワゼキショウ																		
H.62 タイワンハチジョウナ	+	+																
H.63 インドシャリンバイ																+	+	
H.64 ベニバナボロギク																		
H.65 ハマハナヤスリ																		
H.66 シオカゼテンツキ																		
H.67 クグテンツキ																		
H.68 ホソバアキノゲシ																		
H.69 オニノゲシ																		
H.70 ハイキビ																		
H.71 ホトケノザ																		
H.72 ムラサキエノコロ																		
H.73 ハマエノコロ																		
H.74 ニガカシユウ																		
H.75 ウリクサ																		
H.76 コマツヨイグサ																		
H.77 スズメノエンドウ																		
H.78 クロミノオキナワズメウリ			+															
H.79 サキシマフヨウ								+										
H.80 シマイズセンリョウ																	+	
H.81 イヌビエ																		
H.82 手子コグサ																		
H.83 シマスズメヒエ																		
H.84 ハゼラン																		
H.85 コバノニシキソウ																		
H.86 手ドメグサ																		
H.87 アメリカフウロ																		
H.88 カラスノエンドウ																		
H.89 アイナエ																		
H.90 キバナニワゼキショウ																		
H.91 アフリカヒゲシバ																		
H.92 ネズミノオ																		
H.93 スズメノカタビラ																		
H.94 ハルノゲシ																		
H.95 セイウタンホボ																		
H.96 タチアワユキセンダングサ																		
H.97 キダチコミカンソウ																		
H.98 オオアレチノギク																		
H.99 コブナグサ																		

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-48(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 西側)

調査年月日	西側														出現回数			
	H25年度	H26年度				H27年度				H28年度				H29年度				
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/3		9/1	11/30	1/30
海拔 (m)	167	167	167	167	167	167	167							167	167	167	167	
方位	W	W	W	W	W	W	W							W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30							30	30	30	30	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5	
草本層-1(H)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	1.5	1.5						-	-	-	-	
草本層-1(H)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	1	1						-	-	-	-	
草本層-1(H)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	1	1						-	-	-	-	
草本層-2(H)の高さ (m)	0.05	0.15	0.15	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2						0.4	0.4	0.4	0.4	
草本層-2(H)の植被率 (%)	80	100	100	100	100	100	100	100						90	90	15	20	
草本層-2(H)の出現数 (種)	2	5	7	8	9	10	14	14						15	16	5	5	
出現種数 (種)	2	5	7	8	9	11	15	15						15	16	5	5	
草本層-1(H)																		
H.1 ホルトノキ(モガシ)																		10
H.2 リュウキュウチク																		8
H.3 タチスズメノヒエ							+	+										7
H.4 オキナワサルトリイバラ																		6
H.5 アカメガシワ																		6
H.6 ススキ																		4
H.7 ギンゴウカン(ギンネム)																		4
H.8 ハゼノキ																		2
H.9 ヒメユズリハ																		2
H.10 シマスズメノヒエ																		1
H.11 セイタカアワダチソウ																		1
草本層-2(H)																		
H.1 シンバ	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5							3-3	3-3			39
H.2 ハイシロノセンダングサ														1-2	1-2	1-2	1-2	35
H.3 タチスズメノヒエ				+	+									+	+		+	23
H.4 コバナヒメハギ							+	+										22
H.5 ギンゴウカン(ギンネム)																		19
H.6 チガヤ				+	+	+								4-4	4-4	1-2	1-2	17
H.7 コゴメスゲ																		17
H.8 ホシダ								+	+					+	+			17
H.9 リュウキュウイチゴ																		14
H.10 アキノゲシ							+	+						+	+			13
H.11 イヌビロ																		13
H.12 マルバダケハギ																		12
H.13 ヒメジョオン				+	+	+	+	+						++	++		+	12
H.14 コウライシンバ																		11
H.15 オニタビラコ								+	+					++	+	++	1-2	11
H.16 アカメガシワ																		11
H.17 オキナワサルトリイバラ																		11
H.18 ヒメユズリハ																		11
H.19 キキョウラン																		11
H.20 シラタマカズラ																		11
H.21 トベラ																		11
H.22 ヒメムカシヨモギ				+	+	+	1-2	1-2						1-2	1-2			10
H.23 ホルトノキ(モガシ)																		10
H.24 リュウキュウチク																		10
H.25 リュウキュウテイカズラ																		10
H.26 タブノキ																		10
H.27 ホウロクイチゴ																		10
H.28 スギナ	+	+			++	1-2	1-2											10
H.29 ケイカカズラ																		9
H.30 オオバギ																		9
H.31 ススキ																		9
H.32 カタバミ							+	+										9
H.33 ナガバハリフタバ																		9
H.34 イワダレンソウ																+		9
H.35 ヤハズソウ															+			8
H.36 リュウキュウマツ								+	+									8
H.37 ハゼノキ																		8
H.38 スダジイ(イタジイ)																		8
H.39 メシバ			+															7
H.40 ホウキギク								+	+					+				7
H.41 アブラススキ																		7
H.42 ウラジロカンコノキ																		7
H.43 ハマスゲ														2-2	1-2	+		7
H.44 セイタカアワダチソウ														+	+			7

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-48(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.2 西側)

調査年月日	西側																出現回数			
	H25年度		H26年度					H27年度				H28年度				H29年度				
	3/7	6/4	8/28	11/12	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/3	9/1	11/30		1/30		
海拔 (m)	167	167	167	167	167	167	167							167	167	167	167			
方位	W	W	W	W	W	W	W							W	W	W	W			
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30							30	30	30	30			
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5							4.5	4.5	4.5	4.5			
草本層-1(H)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	1.5	1.5						-	-	-	-			
草本層-1(H)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	1	1						-	-	-	-			
草本層-1(H)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	1	1						-	-	-	-			
草本層-2(H)の高さ (m)	0.05	0.15	0.15	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2						0.4	0.4	0.4	0.4			
草本層-2(H)の植被率 (%)	80	100	100	100	100	100	100	100						90	90	15	20			
草本層-2(H)の出現数 (種)	2	5	7	8	9	10	14	14						15	16	5	5			
出現種数 (種)	2	5	7	8	9	11	15	15						15	16	5	5			
草本層-2(H)																				
H. 45 ニシヨモギ																		6		
H. 46 イタビカズラ																		6		
H. 47 オオバチヂミザサ																		6		
H. 48 アメリカホウライセンブリ																		5		
H. 49 ツボクサ																		5		
H. 50 シバヤブニッケイ																		5		
H. 51 コメシバ			+	+														4		
H. 52 エダウチヂミザサ																		4		
H. 53 トキワカモメヅル																		4		
H. 54 カキバカンコノキ																		4		
H. 55 アゼガヤツリ																		4		
H. 56 ヤマダクサ																		3		
H. 57 ヒメクグ														+				3		
H. 58 ジシバリ			+	+	+													3		
H. 59 ギョウギシバ																		2		
H. 60 ツメクサ																		2		
H. 61 ニワゼキショウ																		2		
H. 62 タイワンハチジョウナ																		2		
H. 63 インドシャリンバイ																		2		
H. 64 ベニバナポロギク																		2		
H. 65 ハマハナヤスリ																		2		
H. 66 シオカゼテンツキ																		2		
H. 67 クグテンツキ														+	+			2		
H. 68 ホソバアキノノゲシ														+	+			2		
H. 69 オニノゲシ																		1		
H. 70 ハイキビ																		1		
H. 71 ホトケノザ																		1		
H. 72 ムラサキエノコロ																		1		
H. 73 ハマエノコロ																		1		
H. 74 ニガカシュウ																		1		
H. 75 ウリクサ																		1		
H. 76 コマツヨイグサ																		1		
H. 77 スズメノエンドウ																		1		
H. 78 クロミノオキナワズメウリ																		1		
H. 79 サキシマフヨウ																		1		
H. 80 シマイズセンリョウ																		1		
H. 81 イヌビエ																		1		
H. 82 チチコグサ																		1		
H. 83 シマスズメヒエ																		1		
H. 84 ハゼラン																		1		
H. 85 コバノニシキソウ																		1		
H. 86 チドメグサ																		1		
H. 87 アメリカフウロ																		1		
H. 88 カラスノエンドウ																		1		
H. 89 アイナエ																		1		
H. 90 キバナニワゼキショウ																		1		
H. 91 アフリカヒゲシバ																		1		
H. 92 ネズミノオ																		1		
H. 93 スズメノカタビラ			+															1		
H. 94 ハルノゲシ			+															1		
H. 95 セイヨウタンポポ								+										1		
H. 96 タチアウキセンダングサ								+										1		
H. 97 キダチコミカンソウ																		1		
H. 98 オオアレチノギク														+				1		
H. 99 コブナグサ															+			1		

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

【N-4.2：北側】



平成 26 年 6 月 4 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日

【N-4.2：東側】



平成 26 年 3 月 7 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日

【N-4.2：南東側】



平成 26 年 3 月 7 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日

【N-4.2：南側】



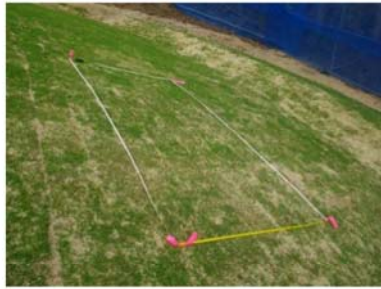
平成 26 年 3 月 7 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日

図 7.2.3-36(1) 無障害物帯形成地の植生状況(N-4.2)

【N-4.2 : 西側】



平成 26 年 3 月 7 日 (過年度 : 初回)



平成 30 年 1 月 30 日

図 7.2.3-36(2) 無障害物帯形成地の植生状況(N-4.2)

5) 工事による副次的影響を復元した箇所における植生状況

工事による副次的影響を復元した箇所の植生の回復状況を図 7.2.3-37 に示した。

N-4.1 の西側及び北西の土砂置き場の復元箇所については、張芝が行われ、草丈 0.5m 程度の草地環境となっており、裸地はみられない。

N-4.2 の着陸帯の北側及び南側の復元箇所については、張芝が行われ、草丈 0.2m 程度の草地環境となっており、概ね裸地はみられない。

既存道路北側作業ヤードについては、砕石敷工がおこなわれており、植生は確認されなかった。

H 付近の作業ヤードについては、砂利や残土が残り、残土部には赤土流出防止対策の侵食防止剤の吹付け処理が行われているが、植生は確認されなかった。

G 直近の作業ヤードについては、土壌流出防止対策のため、チップ剤によるマルチングが行われているが、植生は確認されなかった。

既存道路北側作業ヤード、H 付近の作業ヤード、G 直近の作業ヤードについては植生が確認されなかったため、今後も工事による副次的影響を復元した箇所の植生の回復状況を把握することに努める。

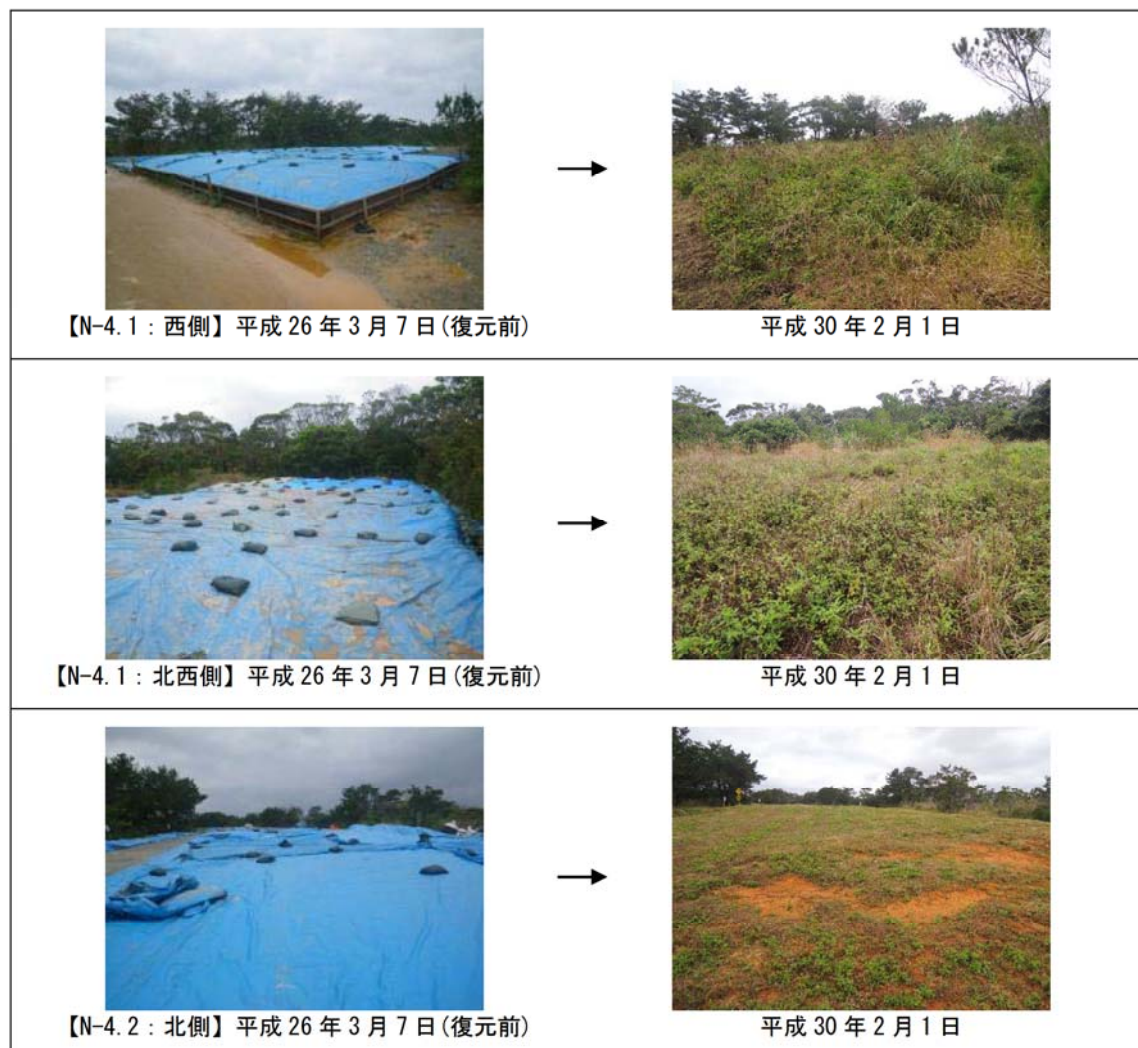


図 7.2.3-37(1) 工事による副次的影響の復元箇所の回復状況

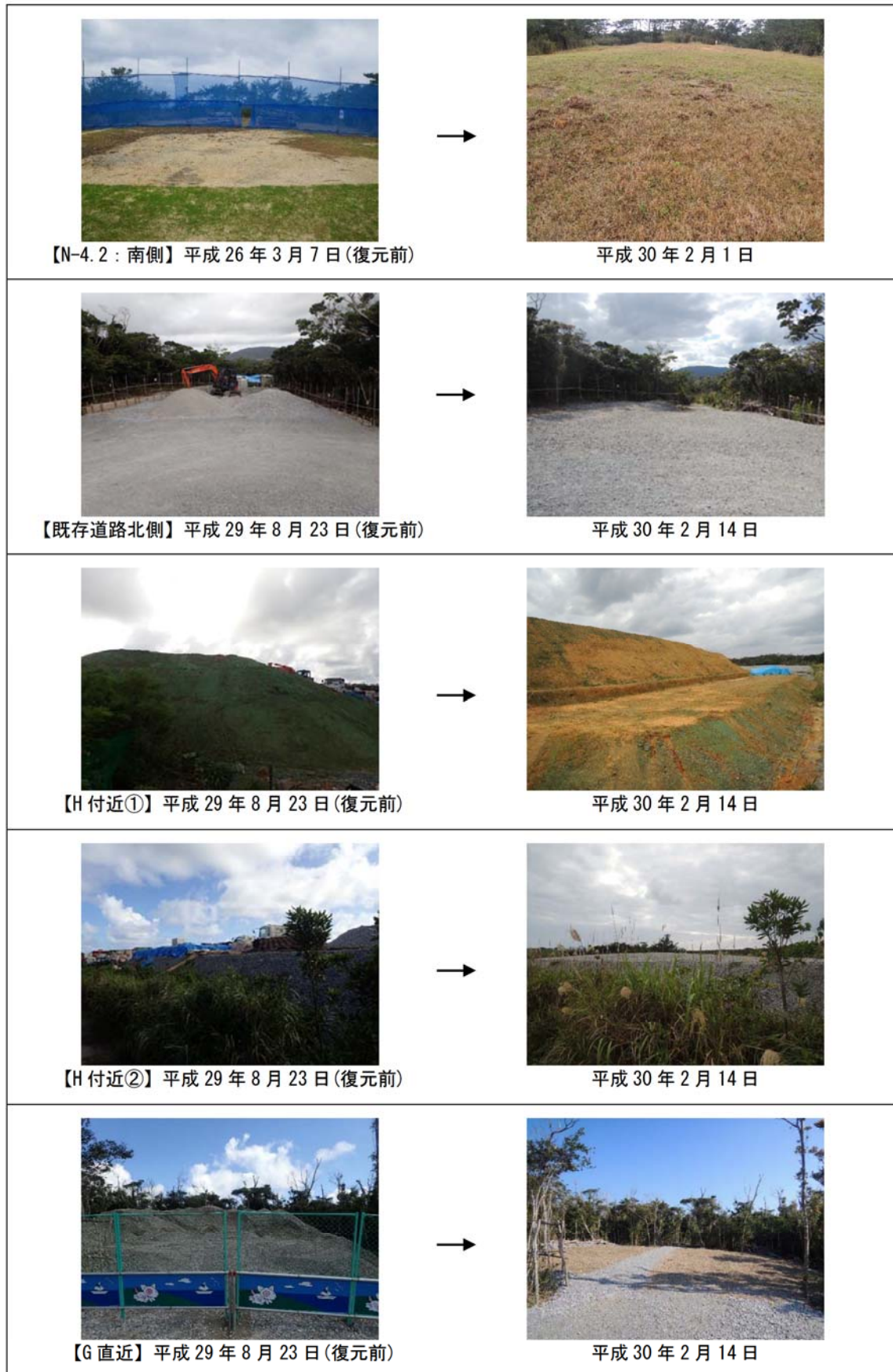


図 7.2.3-37(2) 工事による副次的影響の復元箇所の回復状況